

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
177	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
<b>題名 (原題/訳)</b>	
Examining Mediators of Child Sexual Abuse and Sexually Transmitted Infections. 児童性的虐待と性感染症のメディエーターの検討	
<b>執筆者</b>	
Sutherland MA.	
<b>掲載誌 (番号又は発行年月日)</b>	
Nurs Res. 2011 Mar-Apr;60(2):139-47.	
<b>キーワード</b>	
解離、性感染症、暴力、女性	
<b>要 旨</b>	
<b>背景：</b> 対人暴力は性感染症のリスクファクターとして強く記憶されつつある。効果的な介入の計画には、暴力と性感染症の間の経路を理解することが必要不可欠である。	
<b>目的：</b> この研究の目的は、児童期の性的虐待をメディエーターとしての解離性障害、飲酒、パートナーの身体的暴力や性的強要と女性における性感染症の診断を明らかにすることである。	
<b>方法：</b> Healthcare から 202 人の女性がリクルートされ、うちデータが揃った 189 名を解析した。複合的媒介モデルにて、児童期的虐待の予期されるメディエーターと自己申告による性感染症の診断の関係を検討した。再度サンプリングする方法であるブートストラップ法でメディエーターを検討した。キー変数には児童期的虐待、解離性障害、飲酒、パートナーの暴力が含まれた。	
<b>結果：</b> 児童期の性的虐待は研究参加者の 46% (93 名) に認められた。児童期の性的虐待は、解離性障害 (95%信頼区間: 0.0033~0.4714) や性的強要 (95%信頼区間:0.0359~0.7694) を介して、性感染症の既往と影響があると分かった。アルコール使用と身体的暴力は有意なメディエーターとは見出されなかった。	
<b>討論：</b> この研究は解離性症候やパートナーの性的強要は、児童期の性的虐待と性感染症の間の重要なメディエーターであることを示唆している。それゆえ、解離性障害と対人暴力を考慮する介入は女性における性感染症を予防するのに効果的であると思われる。	